

2020年度 出前女性健康相談 出水地区 報告書

日時：令和2年9月21日（月・祝）12：00～15：00

場所：プラッセだいわ出水店

スタッフ：北村愛、原口郁代、山下しう子、岩元敬子、白男川祐子、原田美和子、
森紗耶香、下田智子（鹿児島県職員： ）

内容：血圧測定、更年期・思春期相談、腰痛・肩こり体操、骨盤ケア、乳幼児計測、
抱っこ紐相談、育児相談、体験コーナー（赤ちゃん抱っこ体験、妊婦体験）、
性教育パネル展示

【事前準備】

5月末～電話などで相談し、6月11日、7月25日に会議を行った。

全員が初めてのイベント参加であり、昨年度の企画書や報告書を見ながら、会場の選定やイベントの内容、時間帯など決定した。また、感染症対策やイベント内容については県と相談しながら決定した。

その後はスタッフが集まるのが困難であったため、メールでのやり取りで各自準備を行った。

【広報】

- ・チラシ（535枚印刷）の郵送は、出水地区、阿久根地区、長島地区の計22か所
- ・手配り：公民館、近隣スーパー、ホームセンター、新生児訪問や助産院などの利用者
- ・Facebook、Twitter、Instagram、助産院ホームページなど

【前日準備、当日準備】

・会場図でテーブルの位置などは決めていたが、感染症対策で受付・検温を必ず行う必要があったため、テーブルやパーテーションで仕切り、必ず受付を行ってから会場に入ってもらえるよう臨機応変に対応した。

・風船や赤ちゃんの写真など会場のデコレーションは経験のあるスタッフが誘導・指示してくださり、とても可愛いものになった。

【実施】

- ・会場入り口2か所で風船と配布用チラシを配布し、誘導した。
- ・子ども連れは風船で足をとめてくださり、チラシ配布や認知に繋がった。
- ・スタッフはマスクとフェイスシールドを着用、各テーブルに消毒用アルコールを設置し感染予防に努めた。
- ・コロナのためか、来場者は少なめではあったが、1人1人にスタッフがゆっくりと対応することができた。
- ・手の空いたスタッフが他のブースを手伝ったりして協力して実施することができた。
- ・小学生が妊婦体験や赤ちゃん人形抱っこ体験を実施している際は会場が笑顔に包まれた。

実施結果

相談内容	相談延件数		
1. 思春期に関する相談	0		
2. 妊娠・避妊に関する相談	2		
3. 予期せぬ妊娠に関する相談	0		
4. 不妊に関する相談	0		
5. 授乳・離乳に関する相談	2	体験内訳	
6. 育児に関する相談	3	1 骨盤・腰痛体操	4
7. 子どもの発育・発達・健康	10	2 血圧測定	9
8. 産前・産後の体調管理に関する相談	2	3 乳幼児の身長・体重測定	14
9. メンタルケアに関する相談	1	4 妊婦体験	1
10. 女性の体調や健康	8	5 赤ちゃんの抱っこ体験	7
11. 更年期・老年期に関する相談	4	6 抱っこ紐	3
12. その他：内服薬、糖尿病	3	7 その他	0
合計	35	計	38



スタッフの所感

【良かった点】

- ・和やかな雰囲気の中で密になることがなく、担当の空いた助産師は他の方の補助をしたり、お互い協力していた。
- ・風船を持って出入口でイベントのお誘いは参加の利用に繋がった。
- ・少し少なめの来場だったため、バタバタとスタッフが走り回ることがなく、来てくださった方は、ゆっくりお話や体験ができていた。
- ・フェイスシールド・アルコール消毒などコロナ対策はきちんとできていた。
- ・他の助産師との交流が図れてよかった。

【改善点】

- ・受付（名前・連絡先記入 検温 体調確認）から相談の流れを確実に取らず、検温を抜かしたり相談後になった。
- ・受付の表示を大きくしたり、入り口をゲート様にするのもいいかもしれないと思った。
- ・フェイスシールドは抱っこ・抱っこ紐体験の時は赤ちゃんにあたってしまい、配慮が必要だった
- ・相談というのが、少し敷居が高かったように感じた。